7202-026000100

TEAC

取扱説明書

CR-H260i

CDレシーバー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

Made for iPod iPhone iPad

目　次

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源コード ×1
リモコン (RC-1307)×1
リモコン用乾電池 (単 4)×2
AM ループアンテナ ×1
FM アンテナ ×1
取扱説明書 (本書)×1
保証書 ×1

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因になります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損(芯線の露出や断線など)した場合は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。 火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年１回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く **通電状態の放置やお手入は、漏電や感電の原因となることがあります。**
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本機は、電池を使用しています。発熱、発火、液漏れ等を避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

 注意　乾電池に関する注意

禁止	**乾電池は絶対に充電しない** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

 注意　電池に関する注意

強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕ とマイナス⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる** 間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない** 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない
分解禁止	**分解しない** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。
警告	**高温に晒さない** 電池が日光、炎、又は同様な過度の熱に晒されてはならない。

愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

コンパクトディスクについて

オーディオ CD について

「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのある CD（12cm）

音楽 CD フォーマットで正しく記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。
または、MP3、WMA ファイルが記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

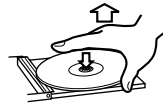
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
- DVD ビデオ、DVD オーディオ、ビデオ CD、DVD-ROM、CD-ROM などは再生できません。
- コピーコントロール CD や Dual Disc など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RW について

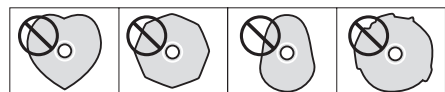
本機は音楽 CD フォーマットで記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　持ち方

使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタル CD のシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音 / 再生ができなくなる場合があります。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状の CD は、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

コンパクトディスクについて（続き）

お手入れ

- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。

- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RW は、通常の CD と比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

MP3/WMA について

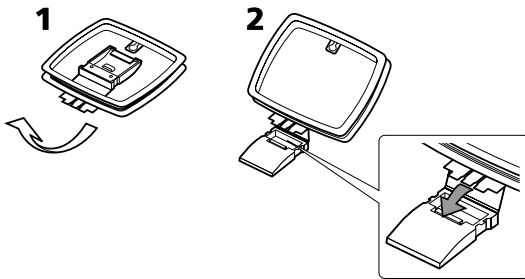
本機は、CD-R/CD-RW ディスク、SD カード、USB フラッシュメモリーに記録された MP3 ファイルや WMA ファイルを再生することができます。パソコンなどを使って MP3 ファイルまたは WMA ファイルを作成する際は、使用するソフトウェアのマニュアルをよくお読みください。

- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字 (1 バイト文字) しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、再生は可能ですが正しく表示できません。
- MP3/WMA ファイルの認識はファイル拡張子 (MP3 の場合は「.mp3」、WMA の場合「.wma」) で行います。ファイル名には必ず拡張子を付けてください。
- 拡張子のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子をつけていても MP3 または WMA データ形式でないファイルは再生できません。
- 本機で再生できる MP3 ファイルは、モノラルまたはステレオの MPEG-1 Audio Layer 3 フォーマットで、サンプリングレートが 44.1 または 48 kHz、ビットレートが 320 kbps 以下のファイルとなります。
- 本機で再生できる WMA ファイルは、サンプリングレートが 44.1kHz、ビットレートが 192kbps 以下のファイルとなります。
- 可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。MP3/WMA ファイルを記録した機器でファイナライズしておいてください。
- ISO9660 規格で記録されていないディスクは再生できません。
- 本機で再生できる最大ファイル数は 999、最大フォルダ数は 255 になります。これらの最大数を超えて記録されている場合は、1000 番目以降のファイルや 256 番目以降のフォルダは正しく再生できない場合があります。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。
- 著作権保護された音楽ファイルは本機で再生することはできません。
- 本機では複数のパーティションに分けてフォーマットされた USB メモリー及び SD カードには対応していません。

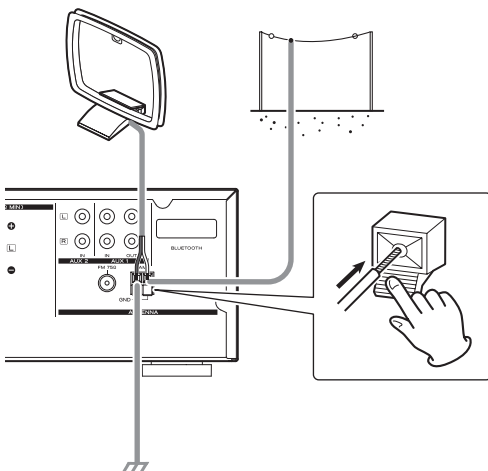
アンテナの接続

AM アンテナ

AM 室内アンテナ

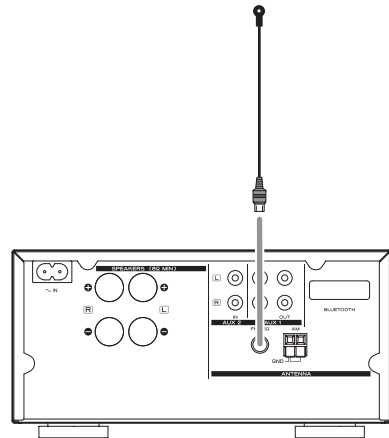
付属の AM ループアンテナを組み立て、リアパネルの AM アンテナ端子に接続します。

アンテナコードは黒い方を GND に、白い方をもう片方の端子に接続してください。
AM 放送の受信中にこのアンテナを回して、受信状態が一番良い向きに置いてください。
また、アンテナコードはできるだけ電源コードやスピーカーコードなどと離してください。

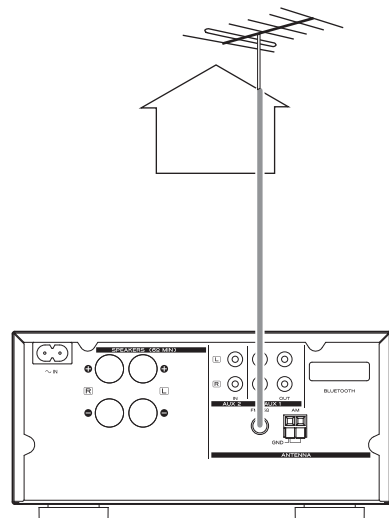
AM 屋外アンテナ

AM 電波の弱い地域では、6 〜 15m のビニール線を窓際か屋外に水平に張り、AM アンテナ端子の GND ではない側に接続してください。

- 屋外アンテナを使用するときは、必ず GND 端子をアースにつないでください。
- 屋外アンテナと接続する場合でも、付属の AM ループアンテナは接続したままにしてください。

FM アンテナ

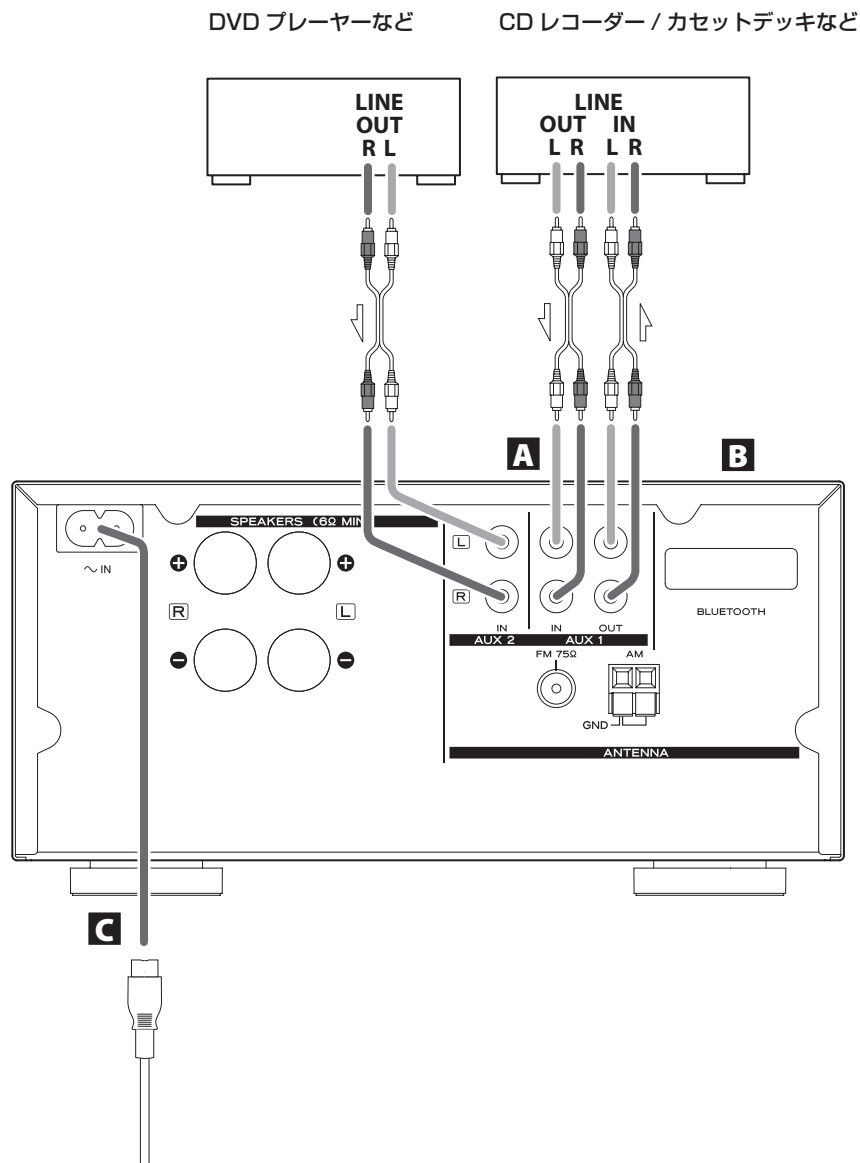
FM 室内アンテナ

付属の FM アンテナをリアパネルの FM アンテナ端子に接続し、アンテナを伸ばします。
受信状態が最もよくなる位置の窓枠や壁などにアンテナを固定してください。

FM 屋外アンテナ

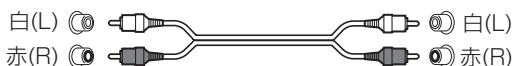
FM 電波の弱い地域では３素子の屋外アンテナ（市販品）を使用し、75Ω 同軸ケーブルで接続してください。
特に電波の弱い地域では、５素子以上のアンテナを使用してください。

- 屋外アンテナと接続する場合は、FM 屋内アンテナは外してください。

接続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

A アナログ音声入出力端子 [AUX1/AUX2]

アナログの音声が出入力されます。
市販のオーディオケーブルを使って、各機器と本機の入出力端子に接続してください。

- オーディオケーブルは白のピンプラグを白 (L) 端子に、赤のピンプラグを赤 (R) 端子に接続してください。

- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B Bluetooth アンテナ (Bluetooth)

Bluetooth 機器との通信に使用します。

C 電源コード

全ての接続が終わったら、電源コードを本機に接続し、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 注意

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

Bluetooth 機器との接続

本機では、他の Bluetooth 搭載機器で再生する音楽を、ワイヤレス (ケーブルの接続なし) でお楽しみいただくことができます。
Bluetooth 機器と通信を行うにはペアリングを行います。
以下の手順でペアリングを行ってください。

- ペアリングを行うには Bluetooth 機器の操作も必要です。操作方法は、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

1 入力切替ボタン [SOURCE] を繰り返し押して「Bluetooth」を選ぶ。

リモコンで操作する場合は [Bluetooth] ボタンを押してください。

2 Bluetooth 機器を Bluetooth 通信状態に設定する。

- iOS 搭載機器の場合、「設定」→「一般」→「Bluetooth」で「Bluetooth」を「オン」にします。

3 Bluetooth 機器から、本機「CR-H260i」を選択し接続する。

接続に成功するとディスプレーに「connected」（接続しました）と表示されます。

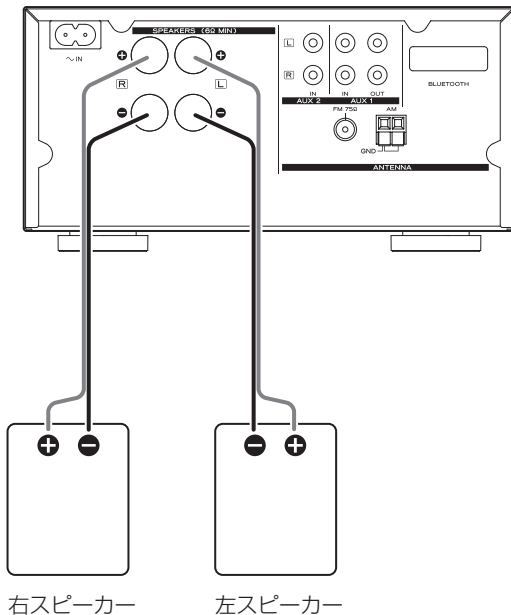
- 3 分間経過して外部 Bluetooth 機器との接続が成功しなかった場合、ディスプレーに「not connected」（接続していません）と表示されます。

- 既に接続に成功したことがある場合は、自動的に前回接続した機器に接続を試みます。

- 前回接続した機器以外の Bluetooth 機器と接続したい場合は、停止ボタン (■) ボタンを 2 秒以上押し続けて、接続待機状態 (ペアリングモード) にして下さい。

- 接続に失敗した後 3 分間経つと自動的に Bluetooth の電源を落とし、ECO モードになります。

- 再度接続を行いたい場合は、[STOP] ボタンを 2 秒以上押し続けて下さい。

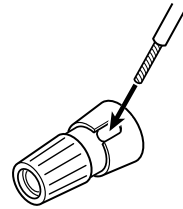
スピーカーの接続

市販のスピーカー専用ケーブルを使って、スピーカーと接続してください。

- 本機の赤い端子が ⊕、黒い端子が ⊖ になります。スピーカーケーブルのマークされている側を ⊕ 端子に、もう片方のケーブルを ⊖ 端子に接続してください。
- スピーカーは公称インピーダンスが 6Ω 以上のものをお使いください。
- スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のケーブルや端子に接触するとショートすることがあります。
- スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。
- 雑音を防ぐため、スピーカーケーブルは電源コードなどその他のケーブルと一緒に束ねないでください。

接続のしかた

1 接続端子のつまみを左に回してゆるめる。

2 芯線を切り欠き部に挿入し、つまみを右に回してしっかり締め付ける。

3 ケーブルを軽く引っ張り、しっかり挿入されているか確認する。

バナナプラグでの接続

市販のバナナプラグを使用して接続することもできます。スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグをターミナルに差し込みます。

- つまみを締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

iPod/iPhone/iPad を使うには

本機で使用できる iPod/iPhone/iPad

以下の Apple 製品を本機に接続して使うことができます。

iPod nano（第 2 世代、第 3 世代、第 4 世代、第 5 世代、第 6 世代）
iPod touch（第 1 世代、第 2 世代、第 3 世代、第 4 世代）
iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G
iPad（第 3 世代）、iPad 2、iPad

下記の弊社ホームページの iPod 動作確認表もご参照ください。

http://www.teac.co.jp/audio/teac/support_ipod.html

- 本機では、iPod/iPhone/iPad のビデオは出力できません。
- 本機の USB 端子に iPod/iPhone/iPad を接続するには、iPod/iPhone/iPad に付属の USB ケーブルをお使いください。

iPod/iPhone/iPad 用ソフトウェア

お使いの iPod/iPhone/iPad が本体やリモコンの操作ボタンで正常に動作しない場合、最新の iPod/iPhone/iPad ソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。
以下のサイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

http://www.apple.com/jp/downloads/

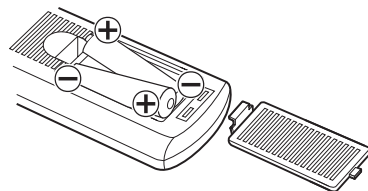
リモコンの使い方

使用上の注意

⚠ 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。6 ページの注意をよく読んでお使いください。

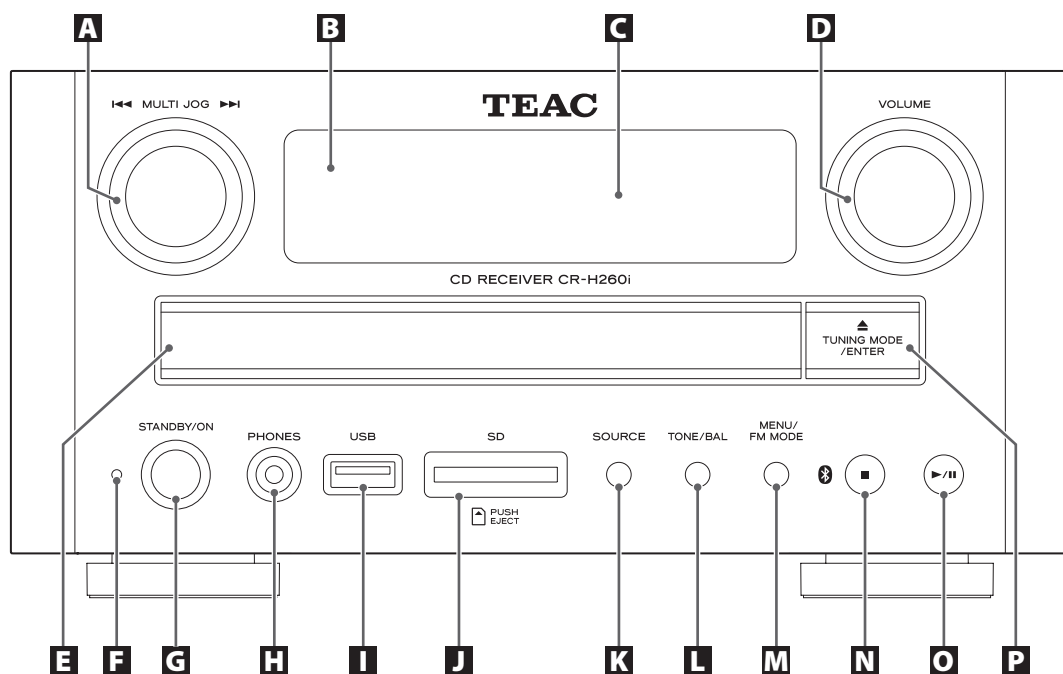
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5 メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池（単４形）2 本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

各部の名称（本体）

A
B
C
D
MULTI JOG
TEAC
VOLUME
CD RECEIVER CR-H260i
TUNING MODE
/ENTER
STANDBY/ON
PHONES
USB
SD
PUSH
EJECT
SOURCE
TONE/BAL
MENU/
FM MODE
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P

A 選局 / 設定つまみ [MULTI JOG]

CD/USB/SD モード時

前または後ろの曲にスキップします。(26 ページ)

チューナーモード時

放送局やプリセットチャンネルを選びます。(30 ページ)

また、トーン / バランスボタン (TONE/BAL) を押したあとに操作すると、高音 / 低音 / バランスを調節することが出来ます。(19 ページ)

B リモコン受光部

リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

C ディスプレー

D 音量つまみ [VOLUME]

音量を調節します。

E ディスクトレー

F スタンバイインジケーター

はスタンバイ (STANDBY) のときオレンジ色に点灯し、オン (ON) のときは消灯します。

G スタンバイ / オンボタン [STANDBY/ON]

電源のオン / スタンバイ (オフ) を切り換えます。

- 音声入力がない状態で 30 分以上操作しないと、スタンバイ状態になります。(18 ページ)

H ヘッドホン端子 [PHONES]

ヘッドホンの φ3.5 mm ステレオミニプラグを接続します。

- iPod モードのときは、ヘッドフォン端子から音声は出力されません。

I USB 端子

iPod/iPhone/iPad または USB メモリーを接続します。

J SD カードスロット

SD カードを差し込みます。

K 入力切換ボタン [SOURCE]

ソースを選択するときに使用します。

L トーン / バランスボタン [TONE/BAL]

高音、低音、バランスを調節します。選局 / 設定つまみ (MULTI JOG) と組み合わせて使います。

M メニュー /FM モードボタン [MENU/FM MODE]

iPod モードのとき、このボタンを押すとひとつ前のメニューを表示します。

FM 放送の受信時、ステレオとモノラルを切り換えます。

N 停止ボタン [■]

CD/USB/SD モードのとき、再生を停止します。

Bluetooth 機器とペアリングを行うときには 2 秒以上ボタンを押します。

O 再生 / 一時停止ボタン [►/❚❚]

CD/USB/SD/iPod モード時に、再生や一時停止を行います。

P 開閉、チューニングモード / エンターボタン [⏏、TUNING MODE/ENTER]

CD モード時

ディスクトレーを開閉します。

iPod モード時

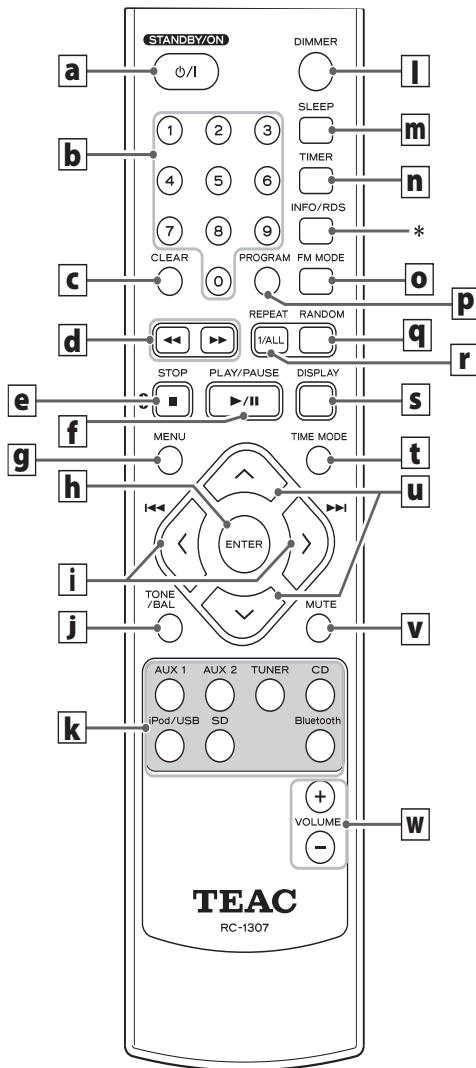
iPod のメニュー項目を選択します。

チューナーモード時

チューニングモードを選択します。(30 ページ)

時計 / タイマー設定時

設定内容を確定します。

各部の名称（リモコン）

＊ このボタンは本機では使用できません。

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a スタンバイ / オンボタン [⏻/I]

電源のオン / スタンバイ (オフ) を切り換えます。

b 数字ボタン

CD/USB/SD モードのとき、選曲などに使用します。数字ボタンでの選曲方法は 27 ページをご覧ください。

チューナーモードのとき、プリセットされた放送局を選択できます。

c クリアーボタン [CLEAR]

CD/USB/SD モードのとき、入力中の数字を削除します。

d サーチボタン [◀◀/▶▶]

CD/USB/SD/iPod モードのとき、早送り / 早戻しに使います。

チューナーモードのとき、押したままにするとオート選局が始まります。

e 停止ボタン [■]

CD/USB/SD モードの再生時、再生を停止します。

● iPod モードのときは働きません。

Bluetooth 機器とペアリングを行うときには 2 秒以上ボタンを押します。

f 再生 / 一時停止ボタン [▶/II]

CD/USB/SD/iPod モードのとき、再生 / 一時停止に使います。

g メニューボタン [MENU]

iPod モードのとき、このボタンを押すとひとつ前のメニューを表示します。

h エンターボタン [ENTER]

CD/USB/SD のプログラムモード時に、曲を選択します。

iPod モードのとき、iPod のメニュー項目を選択します。

i カーソルボタン [〈/〉]

タイマー / 時刻の設定をするとき、設定する項目を選びます。

スキップボタン [⏮/⏭]

CD/USB/SD/iPod モードのとき、前または後ろの曲にスキップします。
チューナーモードのとき、プリセットされた放送局を選択できます。

j トーン / バランスボタン [TONE/BAL]

高音、低音、バランスを調節します。スクロールボタン (へ/∨) と組み合わせて使います。

k 入力切換ボタン

ソースを選択するときに使用します。
チューナーボタン (TUNER) を押すと、AM/FM が切り換わります。

l ディマーボタン [DIMMER]

ディスプレーの明るさを調節します。(19 ページ)

m スリープボタン [SLEEP]

スリープタイマーを設定します。(20 ページ)

n タイマーボタン [TIMER]

タイマーのオンとオフを切り換えます。(36 ページ)

o FM モードボタン [FM MODE]

FM 放送受信時、ステレオとモノラルを切り換えます。(31 ページ)

p プログラムボタン [PROGRAM]

CD/USB/SD モードのとき、プログラム再生に使用します。
チューナーモードのとき、放送局のプリセットに使います。

q ランダムボタン [RANDOM]

CD/USB/SD/iPod モードのとき、ランダム再生に使います。

r リピートボタン [REPEAT 1/ALL]

CD/USB/SD/iPodモードのとき、リピート再生に使います。(29ページ)

s ディスプレーボタン [DISPLAY]

CD/USB/SD モードのとき、再生中に表示される情報を変更します。

t タイムモードボタン [TIME MODE]

スクロールボタン(へ/∨)と組み合わせて、タイマー設定をするときに使います。(35ページ)

u スクロールボタン [へ/∨]

CD/USB/SD モードのとき、フォルダを選択します。(MP3/WMA のみ)
チューナーモードのとき、受信周波数を変更します。
1 秒以上押し続けるとオート選局が始まります。

時刻 / タイマー設定時は、設定する時刻や分を調整します。

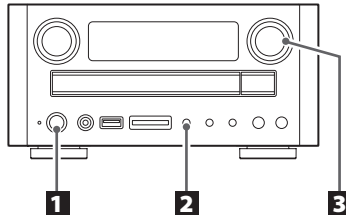
トーン / バランスボタン (TONE/BAL) を押した後、高音、低音、バランスを調節します。

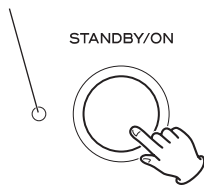
v 消音ボタン [MUTE]

一時的に音を消します。(20 ページ)

w 音量ボタン [VOLUME +/ −]

音量を調節します。+ を押すと大きくなり、−を押すと小さくなります。

基本操作

1 スタンバイ / オンボタン (STANDBY/ON) を押して電源をオンにする。

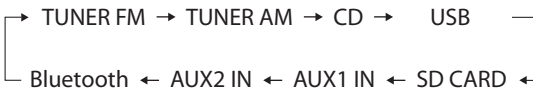
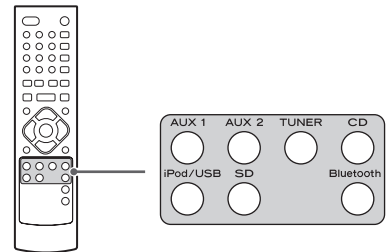
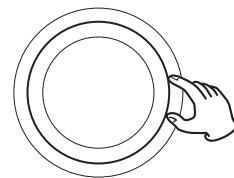
スタンバイインジケーター

スタンバイインジケーターはスタンバイ (STANDBY) のときオレンジ色に点灯し、オン (ON) のときは消灯します。

2 入力切換ボタン (SOURCE) を繰り返し押してソースを選ぶ。

SOURCE

入力切換ボタン (SOURCE) を押すたびに、ソースは以下のように変わります。

→ TUNER FM → TUNER AM → CD → USB

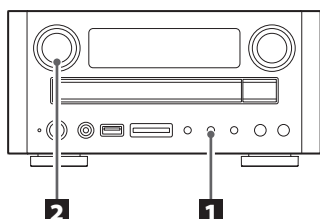
Bluetooth ← AUX2 IN ← AUX1 IN ← SD CARD ←

- アナログ音声入力端子に接続した機器の音声を聴きたいときは、AUX1 IN または AUX2 IN を選びます。
- USB 端子に iPod/iPhone/iPad が接続されているときにソースを USB にすると、ディスプレーには最初「USB」と表示され、iPod/iPhone/iPad を認識後、「iPod」と表示されます。
- リモコンでソースを選ぶときは、聴きたいソースのボタン (AUX1、AUX2、TUNER、CD、iPod/USB、SD、Bluetooth ボタン) を押します。

3 再生を開始して、音量つまみ (VOLUME) を回して音量を調節する。

自動スタンバイ

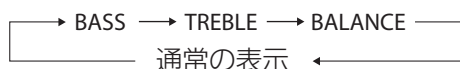
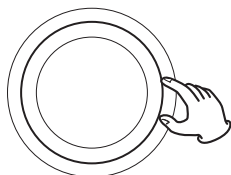
本機は電力消費を抑えるために、選択されている入力ソースを再生していない状態で 30 分間操作しないと、自動的にスタンバイ状態になります。

ただし以下の入力ソースが選択されている場合は、自動でスタンバイ状態になりません。

・TUNER FM
・TUNER AM
・Bluetooth (他の Bluetooth 機器と接続中)

- 入力ソースに Bluetooth が選択されていて、他の Bluetooth 機器と接続していない (ペアリングが行われない) 場合は、30 分間操作しないと、自動的にスタンバイ状態になります。

音域やバランスを変えるには

1 トーン / バランスボタン (TONE/BAL) を押して、変更したい項目を選ぶ。

→ BASS → TREBLE → BALANCE → 通常の表示 →

2 3秒以内に選局 / 設定つまみ (MULTI JOG) を回して、設定を変更する。

3 3秒間そのままにして、設定モードを終了する。

- 続けてその他の項目を変更する場合は、3秒以内にトーン / バランスボタン (TONE/BAL) を押して項目を選んでください。

設定できる項目と設定

BASS(低音域)

低音域を調整します。
設定できる範囲 : − 10 ～ +10

```
BASS         0
```

TREBLE(高音域)

高音域を調整します。
設定できる範囲 : − 10 ～ +10

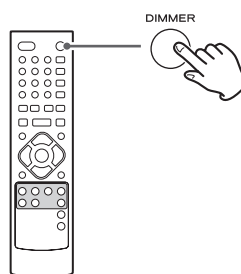
```
TREBLE       0
```

BALANCE(バランス)

左右のバランスを調整します。
設定できる範囲 : L +16 ～ R +16
通常は中央 (BALANCE CENTER) に設定してください。

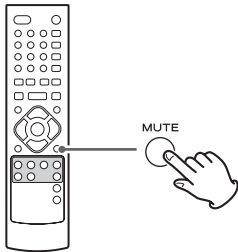
```
BALANCE   CENTER
```

ディマー

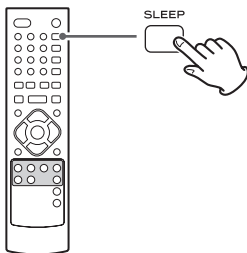
ディスプレーの明るさを調整します。
オン (ON) にすると、ディスプレーが暗くなります。

```
DIMMER   ON
```

- 電源を切るとディマー機能は解除されます。

一時的に音を消すには

消音ボタン (MUTE) を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- ミュート機能が働いているときは、ディスプレーに「MUTE」が表示されます。
- ミュート機能が働いているときに音量を調整すると、ミュート機能は解除されます。
- ミュート機能が働いているときにソースを切り換えると、ミュート機能が解除されます。

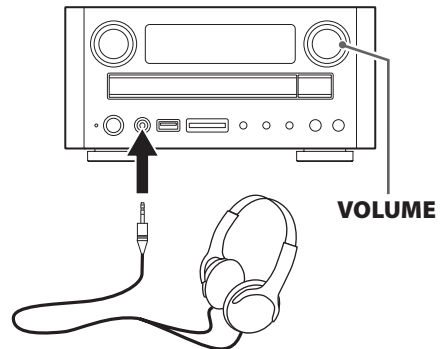
スリープタイマー

一定時間後に電源を自動的にスタンバイ状態にする機能です。
スリープボタン (SLEEP) を押すたびに、時間が変わります。90 分から 10 分まで、以下のように設定できます。

SLEEP 90（60、30、20、10）
90（60、30、20、10）分後に自動的にスタンバイ状態にします。

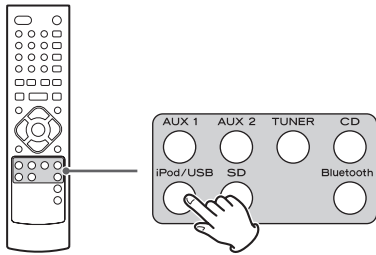
SLEEP OFF
スリープタイマー機能を停止します。

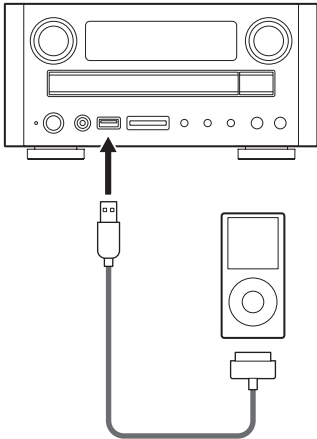
- スリープタイマー機能が働いているときは、ディスプレーが暗く（ディマーがオンの状態に）なります。
- スリープタイマーが働いているときにスリープボタン (SLEEP) を１回押すと、スタンバイになるまでの残り時間が３秒間表示されます。

ヘッドホンを接続する

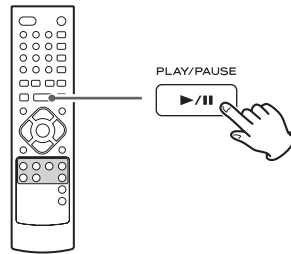
ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を下げてからヘッドホンプラグをヘッドホン端子に差し込み、音量つまみ (VOLUME) で音量を調節してください。ヘッドホンプラグが差し込まれているときは、本機に接続されているスピーカーから音声は出力されません。

iPod を聴くには

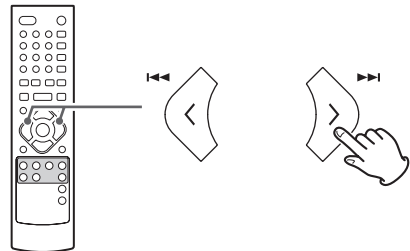
iPod の再生の前に、13 ページの「iPod/iPhone/iPad を使うには」をお読みください。
以下の説明では iPod について記載していますが、iPhone、iPad についても同様です。

1 iPod ボタン (iPod/USB) を押す。

iPod が本機の USB 端子に接続されていないと、「Not Connected」（接続されていません）とディスプレーに表示されます。
すでに iPod が接続されているときは、再生が始まります。

2 本機の USB 端子と iPod を接続する。

「Reading」→「Direct Mode」とディスプレーに表示されます。
自動的に iPod の電源が入り、iPod のプレイリストにしたがって再生が始まります。

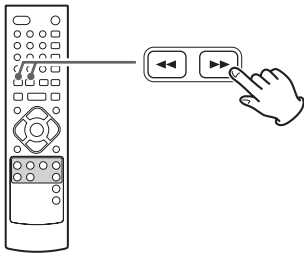
- 本機の USB 端子に iPod を接続するには、iPod に付属の USB ケーブルをお使いください。
- 本機の USB 端子に iPod を接続すると、本機の電源がオンの間は常に iPod を充電します。フル充電すると充電を停止します。スタンバイの時は充電しません。
- iPod モードのとき、停止ボタン (■) は働きません。
- iPod モードのとき、本機のヘッドホン端子から音は出ません。
- 本機と iPod を接続した後、iPod にヘッドホンを接続すると、本機から音が出なくなります。

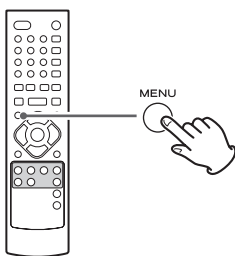
再生を一時停止するには

再生中に再生 / 一時停止ボタン (► / II) を押すと再生が一時停止し、もう一度押すと再び再生を始めます。

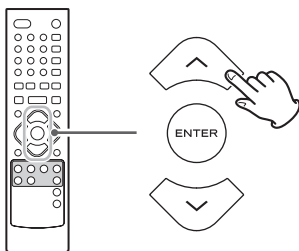
聴きたい曲を探すには

再生中または一時停止中にスキップボタン (I◄◄ / ►►I) を押すと、前または後ろの曲にスキップします。聴きたい曲が選ばれるまで、繰り返し押してください。

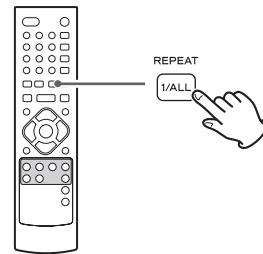
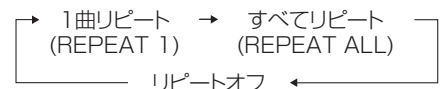
- 再生中は、I◄◄ を 1 回押すと再生中の曲の始めに戻ります。再生中の曲より前の曲を再生したいときは、I◄◄ を繰り返し押してください。

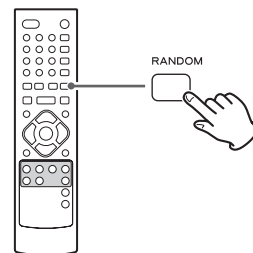
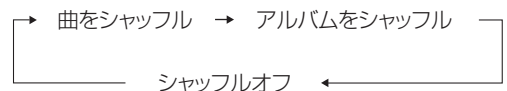
iPod を聴くには（続き）

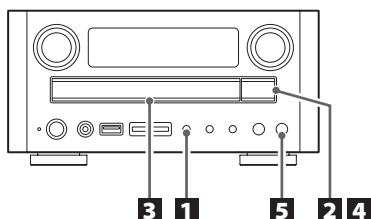
聴きたい部分を探すには

再生中にサーチボタン (◀◀ / ▶▶) を押したままでいると、早送り / 早戻しができます。聴きたいところで指をはなしてください。そこから再生されます。

前のメニューに戻るには

メニューボタン (MENU) を押すと、ひとつ前のメニューを表示します。

メニュー項目を選ぶには

スクロールボタン (∧/∨) を使って項目を選び、エンターボタン (ENTER) を押して選んでください。

リピート再生

リピートボタン (REPEAT 1/ALL) を押すたびに、以下のように iPod のリピートのモードが切り換わります。

- 1 曲リピートにしたときには、iPod のディスプレーに が表示されます。
  すべてリピートにしたときには、iPod のディスプレーに が表示されます。

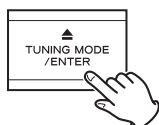
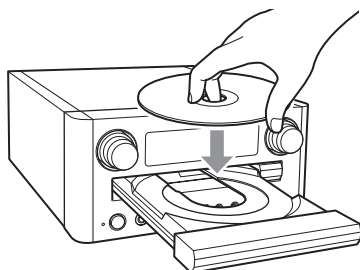
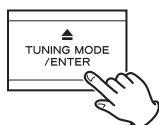
シャッフル再生

ランダムボタン (RANDOM) を押すたびに、以下のように iPod のシャッフルのモードが切り換わります。

- シャッフルモードをオンにしたときには、iPod のディスプレーに が表示されます。

CD を聴くには

1 入力切換ボタン (SOURCE) を繰り返し押して「CD」を選ぶ。

リモコンで操作する場合は CD ボタンを押してください。

SOURCE

CD が入っていない場合は､｢No Disc｣と表示されます。

2 開閉ボタン (▲) を押す。

3 ディスクのレーベル面 (印刷面) を上にしてトレーに乗せる。

4 開閉ボタン (▲) を押す。

ディスクトレーが閉まります。指を挟まないようにご注意ください。

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスクの読み込み中は、ボタンを押しても機能しませんので、ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。

オーディオ CD

ディスクの総曲数 (T) と総再生時間が表示されます。

(例)

```
CD/Stop  AM09:00
T023  65:10
```

MP3/WMA ディスク

ディスクのフォルダ (F) とファイル (T) の数が表示されます。

(例)

```
CD/Stop  AM09:00
F031 T999
```

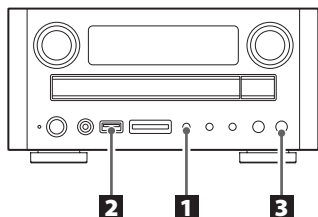
5 再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押す。

1 曲目から再生が始まります。

オーディオ CD を聴くとき

MP3/WMA を聴くとき

- フォルダに入っていない MP3/WMA ファイルは、本機では始めのフォルダ「F001」の曲として表示します。再生は、「F001」の 1 曲目から始まります。
- MP3/WMA ファイルが入っていないフォルダはスキップします。
- すべての曲の再生が終わると、自動的に再生が止まります。
- ディスクトレーが開いたままで、再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押すと、ディスクトレーが閉まり再生が始まります。

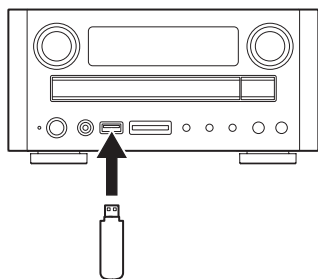
USB メモリーを再生するには

本機は USB フラッシュメモリーに保存された MP3/WMA ファイルを再生することができます。

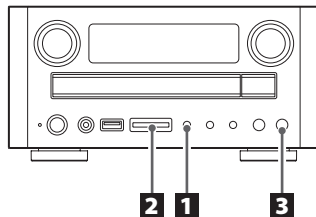
- 本機は 32GB までの USB メモリーに対応しています。

1 入力切換ボタン (SOURCE) を繰り返し押して「USB」を選ぶ。

リモコンで操作する場合は iPod/USB ボタンを押してください。

USB が接続されていない場合は、「Not Connected」と表示されます。

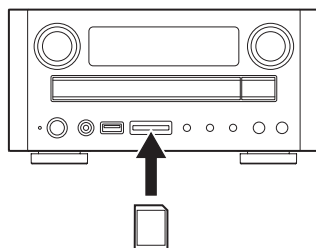
2 USB メモリーを USB 端子に接続する。

3 再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) を押す。

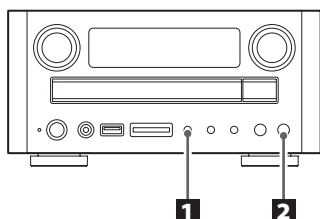
SD カードを再生するには

本機は SD カードに保存された MP3/WMA ファイルを再生することができます。

1 入力切換ボタン (SOURCE) を繰り返し押して「SD CARD」を選ぶ。

リモコンで操作する場合は SD ボタンを押してください。

SD カードが挿入されていない場合は、「No SD Card」と表示されます。

2 SD カードを SD カード端子に挿入する。

3 再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) を押す。

Bluetooth 機器を再生するには

Bluetooth 機器の音声を再生することができます。
あらかじめ Bluetooth 機器と接続してください。(11 ページ)

1 入力切換ボタン (SOURCE) を繰り返し押して「Bluetooth」を選ぶ。

リモコンで操作する場合は Bluetooth ボタンを押してください。

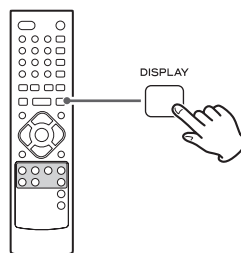
SOURCE

Bluetooth 機器が認識されない場合は、「not connected」(接続されていません) と表示されます。

2 再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押す。

Bluetooth 機器操作のご注意

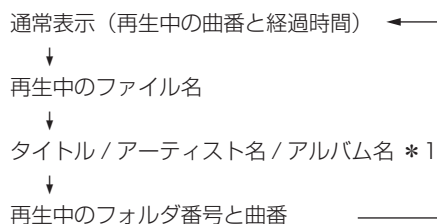
本機では Bluetooth 標準仕様の AVRCP に対応しています。接続する Bluetooth 搭載機器が AVRCP に対応している場合、本機のリモコンで接続機器の基本的な操作を行うことができます。
お使いの Bluetooth 搭載機器によっては、リモコン動作に対応していない場合や、実際の動作が異なる場合があります。

ディスプレーの表示

再生中にディスプレーボタン (DISPLAY) を押すと、ディスプレーに表示される情報が変わります。

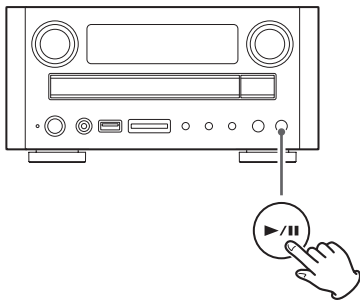
- 早送り / 早戻し中にディスプレーボタン (DISPLAY) を押しても、ディスプレーに表示される情報が変わりません。

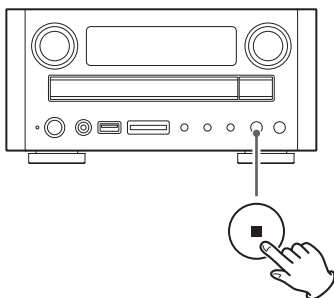
オーディオ CD のとき：

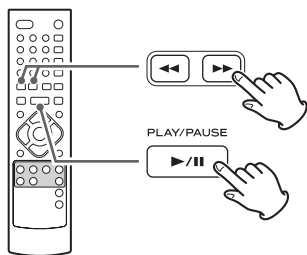
(例)　通常表示

MP3/WMA（SD,USB メモリー、CD-R/RW）のとき：

＊ 1 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字 (1 バイト文字) しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、再生は可能ですが正しく表示できません。ファイルに ID3 タグ（曲名などの情報）がない場合は表示されません。

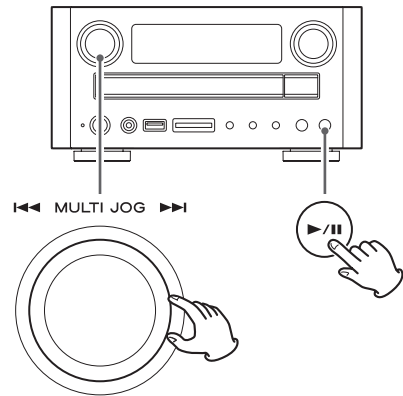
その他の基本再生 (CD/USB/SD)

再生を一時的に停止する

再生中に再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押すと、再生が一時的に停止します。再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押すと、一時停止したところから再び再生が始まります。

再生を停止する

停止ボタン (■) を押すと再生が停止します。

聴きたい部分を探す

または、再生中にサーチボタン (◄◄/►►) を 1 回押すと早送り / 早戻しになります。聴きたい部分が見つかったら再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押してください。

- サーチ中は音が出ません。

聴きたい曲を探す

再生中に選局 / 設定つまみ (MULTI JOG) を回すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて回してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

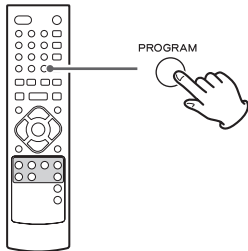
停止中または一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で (一時) 停止状態になります。再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押すと、再生が始まります。

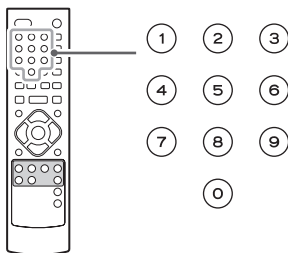
- プログラム再生中は、プログラム中の前または後ろの曲が再生されます。

プログラム再生 (CD/USB/SD)

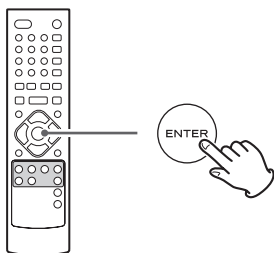
本機は最大 30 曲をプログラムすることができます。

1 停止中にプログラムボタン (PROGRAM) を押す。

（例）

```
P-01 T___
T013  42:38
```

2 数字ボタンを使って曲を選ぶ。

```
P-01 T007
```

- スキップボタン (⏮ / ⏭) で曲を選ぶこともできます。

3 エンターボタン (ENTER) を押す。

- エンターボタン ([ENTER) を押すと点滅表示中の曲番がプログラムされます。

例：

曲番 2 を選ぶとき：

「0」「0」「2」を押すか、「2」を押してエンターボタン ([ENTER) を押します。

曲番 12 を選ぶとき：

「0」「1」「2」を押すか、「1」「2」を押してエンターボタン ([ENTER) を押します。

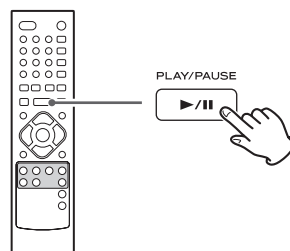
曲番 123 を選ぶとき：

「1」「2」「3」を押してエンターボタン ([ENTER) を押します。(MP3/WMA のみ)

- 全曲数より多い数字を入力した場合は、最後の曲番が候補として点滅表示されます。
  例えば、60 曲入っているメディアで 999 と入力すると、最大曲番の「T060」が表示されます。「060」が点滅します。

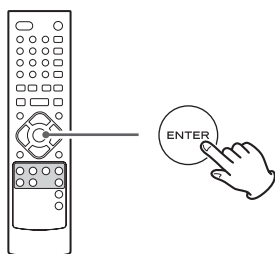
4 2と3を繰り返して、曲を追加する。

- 間違えてプログラムした場合、クリアーボタン (CLEAR) を押すと最後にプログラムした曲だけが削除されます。
- 最大 30 曲までプログラムできます。それ以上プログラムしようとすると、「PROG FULL」とディスプレーに表示されます。

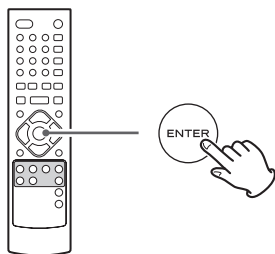
5 プログラム終了後、再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) を押す。

プログラム再生が始まります。

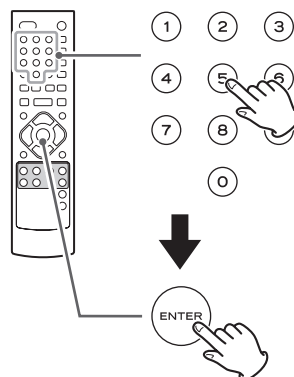
- プログラム再生の終了後、またはプログラム再生を停止したとき、再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) を押すと再びプログラム再生が始まります。
- 停止中にプログラムボタン (PROGRAM) を押すと、プログラムした内容が消去されます。

プログラム再生 (CD/USB/SD)（続き）

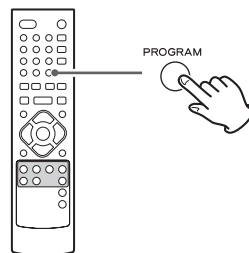
プログラムの内容をチェックする

停止中にエンターボタン (ENTER) を繰り返し押します。プログラム番号とプログラムした曲番が順番にディスプレーに表示されます。

プログラムを修正するには

1 停止中にエンターボタン (ENTER) を繰り返し押して、修正したいプログラム番号を表示させる。

- プログラムの最後に曲を追加したい場合は、「T_ _ _」が表示されるまでエンターボタン (ENTER) を繰り返し押してください。

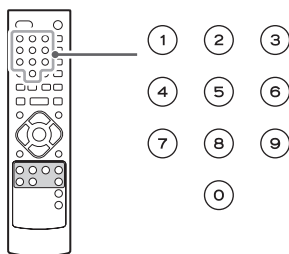
2 新しい曲番を選んでエンターボタン (ENTER) を押す。

- スキップボタン (⏮ / ⏭) で曲を選ぶこともできます。

プログラムが上書きされます。
プログラムの最後、「T_ _ _」を表示させてから選んだ場合は、選んだ曲番が最後に追加されます。

プログラムの内容を消去するには

停止中にプログラムボタン (PROGRAM) を押します。

- 以下のような場合にも、プログラム内容が消去されます。
  - ・本体のプログラムボタン (PROGRAM) を押したとき
  - ・本体の入力切換ボタン (SOURCE) を押したとき
  - ・リモコンの入力切換ボタン（AUX1、AUX2、TUNER、CD、iPod/USB、SD、Bluetooth）を押したとき
  - ・スタンバイ / オンボタン (STANDBY/ON) を押したとき
  - ・ディスクトレーを開けたとき
  - ・電源コードを抜いたとき

ダイレクト再生 (CD/USB/SD)

停止中または再生中に、リモコンの数字ボタンを使って曲を選択できます。

数字ボタンで曲を選びます。選んだ曲から再生が始まります。

- ディスプレーが通常表示のときのみダイレクト再生ができます。
- 早送り / 早戻し中にダイレクト再生はできません。

例：

曲番2を選ぶとき：

「0」「0」「2」を押すか、「2」を押して再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押します。

- 「2」を押してから数秒経つと、曲番2から再生が始まります。

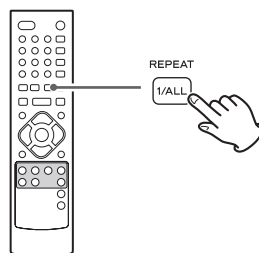
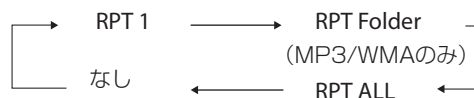
曲番 12 を選ぶとき：

「0」「1」「2」を押すか、「1」「2」を押して再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押します。

- 「1」「2」を押してから数秒経つと、曲番 12 から再生が始まります。

曲番 123 を選ぶとき：

「1」「2」「3」を押します。(MP3/WMA のみ)

リピート再生 (CD/USB/SD)

再生中にリピートボタン (REPEAT 1/ALL) を押すたびにリピート再生のモードは以下のように変わります。

- 再生を停止したとき、または再生中のソースを別なものに切り換えたときはリピート再生は解除されます。

1 曲リピート (RPT 1)

再生中の曲が繰り返し再生されます。スキップボタン (I◄◄ / ►►I) で他の曲を選ぶと、選択された曲が繰り返し再生されます。

フォルダリピート (RPT Folder) (MP3/WMA のみ)

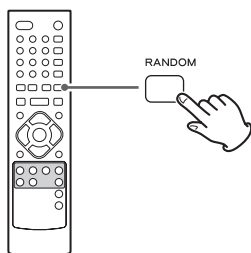
フォルダ内のすべての曲が繰り返し再生されます。

- フォルダがないときは、このモードを選ぶことができません。

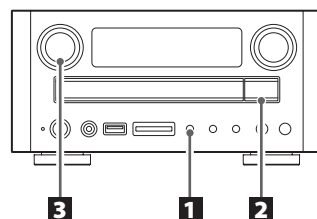
全曲リピート (RPT ALL)

すべての曲が繰り返し再生されます。

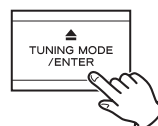
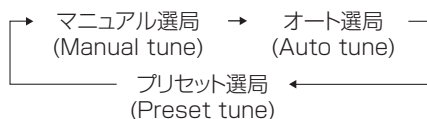
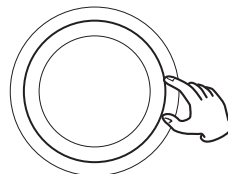
- プログラム再生中にこのモードを選択すると、プログラムされたすべての曲が繰り返し再生されます。

ランダム再生 (CD/USB/SD)

再生中または停止中にランダムボタン (RANDOM) を押すと、「Random」とディスプレーに表示され、すべての曲がランダムに再生されます。

- ランダム再生中に (►►I) を押すと、次の曲がランダムに選ばれます。(I◄◄) を押したときは、再生中の曲が最初から再生されます。
- ランダム再生を解除するには、ランダムボタン (RANDOM) を押してください。
- ランダム再生を停止するには、停止ボタン (■) を押してください。

ラジオを聴くには

1 **入力切換ボタン (SOURCE) を繰り返し押して「TUNER FM」または「TUNER AM」を選ぶ。**

リモコンで操作する場合は TUNER ボタンを繰り返し押してください。

2 **チューニングモードボタン (TUNING MODE) を押してチューニングモードを選ぶ。**

押すたびに、チューニングモードが以下のように変わります。

3 **選局 / 設定つまみ (MULTI JOG) を回して選局する。**

マニュアル選局 (Manual tune)

選局 / 設定つまみ (MULTI JOG) で放送局を選択します。リモコンのスクロールボタン (∧/∨) も使えます。
周波数は固定されたステップで変わります。(FM：0.1MHz ステップ、AM：9kHz ステップ)

オート選局 (Auto tune)

選局 / 設定つまみ (MULTI JOG) を回すと選局が自動的に始まり、放送局を受信すると止まります。
リモコンのスクロールボタン (∧/∨) を 1 秒以上長押しても選局が自動的に始まり、放送局を受信すると止まります。
聴きたい放送局を受信するまで、上記の手順を繰り返します。

- オート選局を中止したい場合は、停止ボタン (■) を押してください。

プリセット選局 (Preset tune)

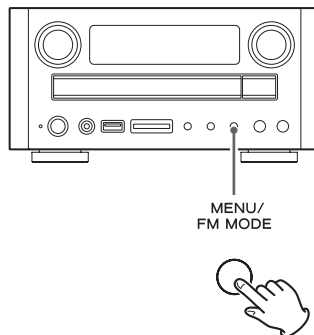
選局 / 設定つまみ (MULTI JOG) でプリセットされた放送局を選択します。
リモコンのスキップボタン (⏮/⏭) も使えます。
選択された放送局を受信します。

- プリセットの方法は、32 ページをご覧ください。

受信状態が悪いときは

FM アンテナまたは AM アンテナの向きを変えて、最も良く受信できる位置を探してください。

FM モード

FM モードボタン (FM MODE) を押すたびに、ステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。

Stereo(ステレオ)：

FM ステレオ放送をステレオで受信します。FM ステレオ放送の受信中はディスプレーに「Stereo」と表示されます。

- 受信状態が悪い場合は、Mono(モノラル) で受信してください。

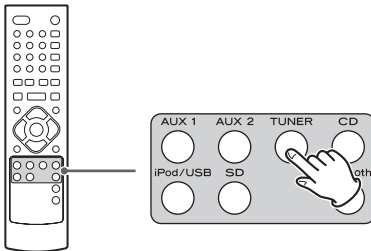
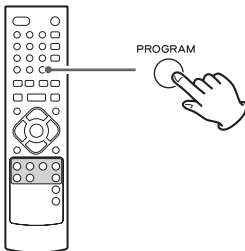
Mono(モノラル)：

FM 放送をモノラルで受信します。FM 放送の受信状態が悪いときにこのモードを選ぶと、音はモノラルになりますがノイズが減少し、聴きやすくなります。

放送局のプリセット

FM放送を30局、AM放送を15局までプリセットできます。

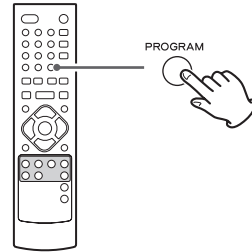
オートプリセット

1 チューナーボタン (TUNER) を押して、「TUNER FM」または「TUNER AM」を選ぶ。

2 プログラムボタン (PROGRAM) を3秒以上押す。

自動的に放送局を選局して、チャンネル 1 から順にプリセットします。

マニュアルプリセット

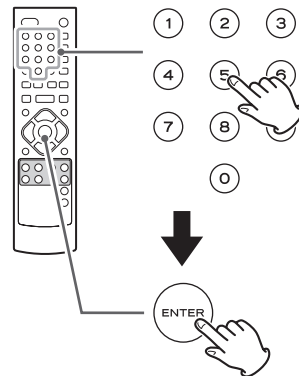
1 プリセットしたい放送局を受信する。

30 ページを参照してください。

2 プログラムボタン (PROGRAM) を押す。

ディスプレーに「—」が点滅します。

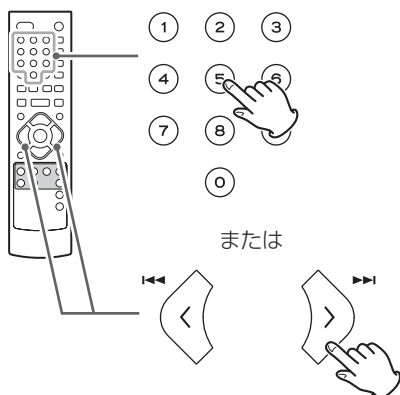
(例)

```
FM          PM01:17
CH__      79.50MHz
```

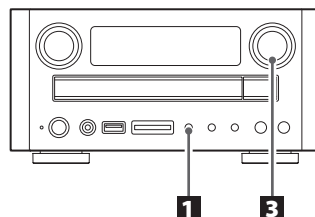
3 20 秒以内に、プリセットするチャンネルを選択する。

- 例えばプリセットチャンネル「15」を選ぶときは、「1」「5」の順にボタンを押してからエンターボタン (ENTER) を押します。
- プリセットチャンネルを選んでから 20 秒以内にエンターボタン (ENTER) を押さないと、プリセットは行なわれません。
- 新たに放送局をプリセットすると、そのチャンネルに以前プリセットされていた放送局は上書きされます。

他の放送局をさらにプリセットするときは、**1** から **3** を繰り返します。

プリセットした放送局を聴くには

数字ボタンまたはスキップボタン (⏮ / ⏭) を押す。

● 数字ボタンが働かない場合は、チューナーボタン (TUNER) を押してから数字ボタンを押してください。

接続した機器の音を聴くには

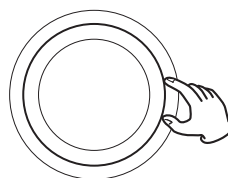
ビデオデッキ、テレビ、ポータブルプレーヤーやテープデッキなどのライン出力やヘッドホン出力を本機の AUX1 または AUX2 端子に接続して、音声を聴くことができます。

1 入力切換ボタン (SOURCE) を繰り返し押して「AUX 1」または「AUX 2」を選ぶ。

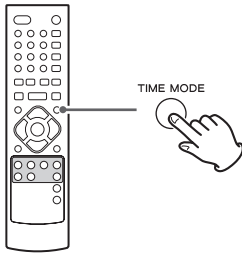
リモコンで操作する場合は AUX1 ボタンまたは AUX2 ボタンを押してください。

SOURCE

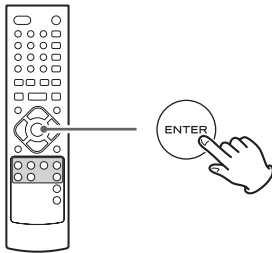
2 接続した機器を再生する。

3 音量つまみ (VOLUME) で音量を調節する。

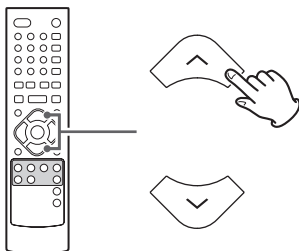
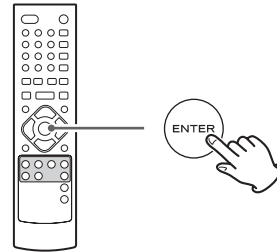
VOLUME

現在時刻の設定

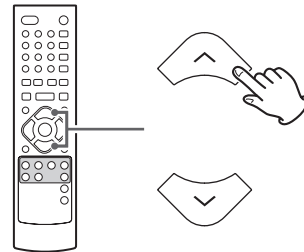
1 タイムモードボタン (TIME MODE) を 2 秒以上押し続ける。

「CLOCK SETTING」とディスプレーに表示されます。

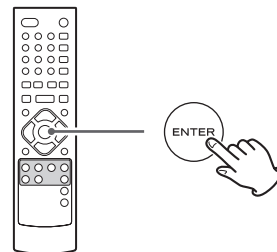
- 20 秒以上何も操作しないと、時刻設定モードはキャンセルされます。
- 時計設定モードを終了させたいときは、停止ボタン（■）を押します。

2 エンターボタン (ENTER) を押す。

「 時 」表示が点滅します。

- カーソルボタン (〉) を押しても同様の操作ができます。

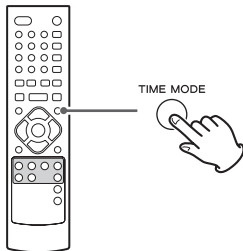
3 スクロールボタン (︿/﹀) を押して「時」を合わせる。

4 エンターボタン (ENTER) を押す。

「 分 」表示が点滅します。

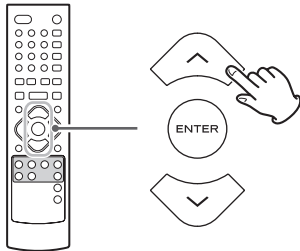
5 スクロールボタン (︿/﹀) を押して「分」を合わせる。

- もう一度「時」を合わせたいときは、カーソルボタン (〈) を押します。

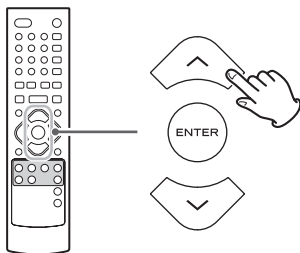
6 エンターボタン (ENTER) を押す。

合わせた時刻の０秒から時計がスタートします。

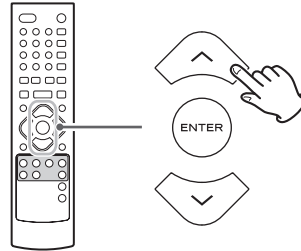
タイマーの設定

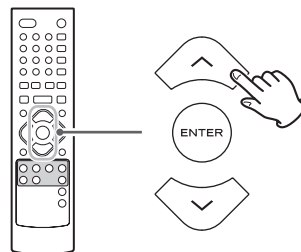
- 指定された時間に自動的に電源をオン / オフさせることができます。
- タイマーを設定する前に、現在時刻を設定してください。(34 ページ)
- ボタンを押してから 20 秒以上何も操作しないと、タイマー設定モードは解除されます。
- カーソルボタン (〈/〉) で設定項目の移動ができます。

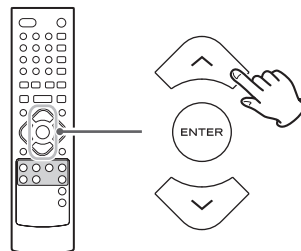
1 タイムモードボタン (TIME MODE) を押す。

タイマー開始時刻の「時」表示が点滅します。

2 スクロールボタン (∧/∨) で、開始時刻の「時」を設定し、エンターボタン (ENTER) を押す。

タイマー開始時刻の「分」表示が点滅します。

3 スクロールボタン (∧/∨) で、開始時刻の「分」を設定し、エンターボタン (ENTER) を押す。

タイマー終了時刻の「時」表示が点滅します。

4 スクロールボタン (∧/∨) で、終了時刻の「時」を設定し、エンターボタン (ENTER) を押す。

タイマー終了時刻の「分」表示が点滅します。

5 スクロールボタン (∧/∨) で、終了時刻の「分」を設定し、エンターボタン (ENTER) を押す。

ソース名が点滅します。

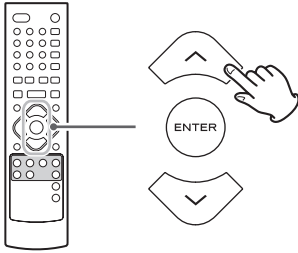
6 スクロールボタン (∧/∨) で、ソースを選び、エンターボタン (ENTER) を押す。

「TU FM」(FM 放送)、「TU AM」(AM 放送)、「CD」、「USB」(USB または iPod)、または「SD」(SD カード) から選べます。

音量レベルが点滅します。

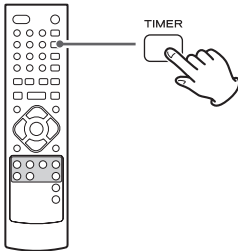
- Bluetooth は選択できません。

次のページに続きます。➡

タイマーの設定（続き）

7 スクロールボタン (︿/﹀) で、音量レベルを設定し、エンターボタン (ENTER) を押す。

以上でタイマー設定は終了です。

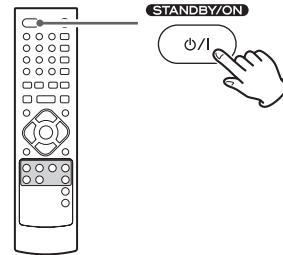
タイマー機能をオンにするには

1 タイマーを設定したあと、タイマーボタン (TIMER) を押す。

「TIMER ON」とディスプレーに表示されます。

2 再生するソースを準備する。

CD を選んだ場合は、ディスクをセットしてください。
USB を選んだ場合は、USB メモリーをセットしてください。
SD を選んだ場合は、SD カードをセットしてください。
iPod を選んだ場合は、iPod をセットしてください。

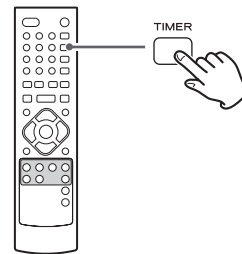
FM 放送または AM 放送を選んだ場合は、放送局を受信してください。

3 スタンバイ / オンボタン (STANDBY/ON) を押して本機の電源をオフにする。

スタンバイインジケーターが点灯します。

タイマーは毎日設定された時間に働きます。

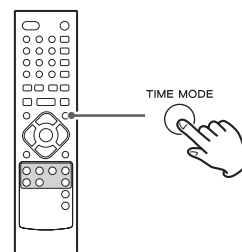
本機の電源をスタンバイにしないとタイマー機能は働きません。

タイマー機能をオフにするには

タイマーボタン (TIMER) を押して、タイマーを解除してください。

「TIMER OFF」とディスプレーに表示されます。

タイマーボタン (TIMER) をもう一度押すと、タイマー機能が有効になります。

タイマー機能を確認するには

タイムモードボタン (TIME MODE) を押してタイマー設定を確認できます。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

共通

電源が入らない。

- ➡ 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？電源コードがしっかりと差し込まれているか確認してください。

音が出ない。

- ➡ 入力切換ボタン (SOURCE) を使って、ソースを選んでください。
- ➡ スピーカーとの接続を確認してください。
- ➡ 音量を確認してください。
- ➡ ヘッドホン端子からヘッドホンを抜いてください。
- ➡ ディスプレーに「MUTE」と表示されている場合は、消音ボタン (MUTE) を押してミュートを解除してください。

雑音がする。

- ➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからできるだけ離して設置してください。

リモコンで操作できない。

- ➡ スタンバイ / オンボタン (STANDBY/ON) を押して、電源をオンにしてください。
- ➡ 電池が消耗していたら、２本とも新しい電池に交換してください。
- ➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から 5 メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
- ➡ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

CD プレーヤー

再生できない。

- ➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➡ 何も録音されていない CD-R/CD-RW が入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RW を再生できないことがあります。
- ➡ ファイナライズされていない CD-R/CD-RW は本機で再生できません。

音飛びがする。

- ➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➡ 傷がついたディスクは使わないでください。

MP3/WMA ファイル (SD カード、USB メモリー、CD-R/RW)

再生できない。

- ➡ ファイルのフォーマットを確認してください。(8 ページ)

タイトル、アーティスト名、アルバム名が表示されない。

- ➡ ファイルに ID3 タグが入っていません。パソコンなどで ID3 タグを編集したファイルを作成し直してください。

正しく表示されない文字がある。

- ➡ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (２バイト文字) が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

iPod/iPhone/iPad

以下の説明では iPod について記載していますが、iPhone、iPad についても同様です。

iPod が動作しない。

- ➡ 一度 iPod の接続ケーブルを抜き、しばらくしてから iPod を接続してください。
- ➡ iPod のソフトウェアをアップデートすることで問題が解決する場合がありますので、アップルのホームページにアクセスして、最新情報を確認してください。

音が出ない。

- ➡ iPod モードのときは、本機のヘッドフォン端子から音声は出力されません。

困ったときは（続き）

ラジオ

受信できない。受信状態が悪い。

➡ 放送局を選局してください。

➡ アンテナと本体の位置や向きを変えてみてください。

➡ 電波が弱い場合、屋外アンテナ (市販品) を使う必要があります。(9 ページ)

Bluetooth

音が途切れたり、雑音がする。

➡ 本機の近くに電子レンジや無線 LAN 機器等の 2.4GHz 帯の電磁波を発する機器があると、影響を受ける場合があります。
これらの機器から離して設置するか、電磁波を発する他の機器の使用をおやめ下さい。

通信が途切れる

➡ 接続する Bluetooth 機器が離れすぎていたり、間に障害物が存在しないか確認してください。本機の Bluetooth の見通し通信距離は 10m 以内です。

ペアリングができない

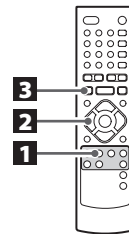
➡ 接続したい Bluetooth 機器が A2DP および AVRCP に対応しているか確認して下さい。

➡ 接続する Bluetooth 機器が通信できる状態になっているか確認してください。
お使いの Bluetooth 機器の設定を、Bluetooth「オン」の状態にする等の操作が必要です。詳しくは、お使いの Bluetooth 機器の取り扱い説明書をご確認下さい。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

以上の操作をしても正常な動作をしない場合は、下記の「工場出荷状態に戻すには」の手順で、初期設定状態に戻して再度操作してください。

工場出荷状態に戻すには

本機が正常に動作しない場合、以下の手順で工場出荷時の初期設定状態に戻すことによって、正常な状態に戻ることがあります。

1 AUX2 ボタンを押す。

電源がスタンバイの場合は、スタンバイ / オンボタン (STANDBY/ON) を押して、オンにしてから操作してください。

- スタンバイインジケーターはスタンバイ (STANDBY) のときオレンジ色に点灯し、オン (ON) のときは消灯します。

2 リモコンのスキップボタン (⏮) を押す。

本機の選局 / 設定つまみ (MULTI JOG) では、初期設定状態に戻すことはできません。

3 停止ボタン (■) を２秒以上押し続ける。

スタンバイインジケーターが消灯し、「FACTORY RESET」（工場出荷状態にリセット）とディスプレーの上の行に表示されます。リセット処理が終了すると、「FINISHED」(終了) に表示が変わります。

4 電源コードをコンセントから抜く。

5 再び電源コードをコンセントに差し込む。

スタンバイインジケーターがオレンジ色に点灯します。

これで、すべてのメモリーが消去されて工場出荷時の初期設定状態に戻りました。
タイマー設定やチューナープリセットなど必要な設定を再度行ってください。

Bluetooth について

使用上の注意

本機の使用周波数帯 (2.4GHz 帯) では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定の小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) へお問い合せください。

電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解 / 改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがしたり、表示を消す

2.4 FH1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 与干渉距離は 10m です。

- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
  重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
  ノイズが出たり、音が途切れて通常のご使用ができないことがあります。
  ・2.4GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
  電波が干渉して音が途切れることがあります。
  ・ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
  音声や映像にノイズがのることがあります。

本機は SCMS-T 方式のコンテンツ保護に対応していません。そのため、SCMS-T 方式でコンテンツ保護された音声を出力することはできません。

お使いの Bluetooth 機器や携帯電話から送信される音楽が SCMS-T 方式のコンテンツ保護が掛けられているかどうかは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

仕　様

アンプ
定格出力. . . . . 25W + 25W(6Ω、1kHz、0.5%)
入力感度. 340mV/47kΩ
周波数特性 . . . . 20Hz ～ 20kHz
スピーカー適合インピーダンス . . . . 6Ω～8Ω

FM チューナー
受信周波数 . . . . 76.0MHz ～ 90.0MHz
S/N 比. . . . . 56dB(Mono)
52dB(Stereo)

AM チューナー
受信周波数 . . . . 522kHz ～ 1,629kHz
S/N 比. 35dB

CD プレーヤー部
周波数特性 . . . . 20Hz ～ 20kHz ± 2.0dB
S/N 比. . . . . 85dB 以上 (1kHz, 0dB, A weight)
全高調波歪率 0.05% (1kHz, 0dB)

USB/SD カード部
周波数特性 . . . . 20Hz ～ 20kHz ± 1.0dB
S/N 比. . . . . 80dB 以上 (1kHz, 0dB, A weight)

Bluetooth
Bluetooth バージョン . . . . V2.1+EDR
出力 . . . . Class 2
(見通し通信距離約 10m 以下)
- 通信距離は目安です。周囲の環境や電波状況により通信距離が変わる場合があります

対応プロファイル . . . . A2DP、AVRCP

再生可能ファイル
mp3
　フォーマット . . . . MPEG-1 Audio Layer 3
　サンプリングレート . . . . 44.1 または 48kHz
　ビットレート . . . . 320kbps 以下
wma
　サンプリングレート 44.1kHz
　ビットレート . . . . 192kbps 以下
最大フォルダ数. 255
最大ファイル数. 999

一般
電源 . . . . AC 100V, 50-60Hz
消費電力. 35W
待機電力. . . . . 0.5W 以下
外形寸法 (幅、高さ、奥行) . . . . 215 x 105 x 355mm
質量 3.2kg

付属品
電源コード ×1
リモコン (RC-1307)×1
リモコン用乾電池 (単 4)×2
AM ループアンテナ ×1
FM アンテナ ×1
取扱説明書 (本書)×1
保証書 ×1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後6年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

37ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他： 製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDレシーバー　CR-H260i

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解･改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1112 MA-1854B